

広報かなぎ

平成15年11月号 No.451



大きな口で 元気よく!

11月1日、産業文化まつりの学芸発表会で歌を披露する金木幼稚園パンダ組の園児たち。





第10回 仁太坊まつり

10月12日、第10回仁太坊まつりが津軽三味線会館屋外ステージで行われ秋の夜空に津軽三味線の音が響きわたりました。

この祭りは津軽三味線の元祖、神原の仁太坊が町内の随所で演奏していたとの史実にもとづき毎年1回開催。10回の節目を迎えた今年は、開催時期を夏から秋に変更し内容も新たに企画され秋のイベントとして定着させようといわれました。

「秋の大地に響け津軽の音色」と題した第一部には、川倉小学校、喜良市小学校、金木中学校・金木南中学校、金木高校の児童生徒のほか、鯨ヶ沢町の弦響と弘前市の津軽三味線まんじ流が出演しそれぞれが合奏を披露しました。第二部は「魂の津軽三味線バトル2003」と題し、今年の津軽三味線全日本金木大会で二連覇した黒澤博幸

さん、2位の永村幸治さん、阿部金三郎・銀三郎兄弟による独奏が行なわれ、続いてフィナーレとなった4人の合奏ではアドリブの掛け合いに、訪れた観客から惜しみない拍手と歓声が湧き起こりました。



伝承 祭典

秋の祭典「03金木町産業文化まつり」が11月1日から3日まで、中央公民館と農業者トレーニングセンターで開催され、好天に恵まれた期間中大勢の町民が訪れにぎわいました。

文化まつりの部では、金木幼稚園と町内保育所の学芸発表会に芸能団体による芸能発表会、各サークルの発表会など大ホールで行われ日頃の練習成果を披露しました。また、会場には絵画、書道、手芸、写真、花など展示され訪れた人たちは芸術の秋を満喫していました。

おもしろ案山子が出迎える産業まつりの部では、地場産品の即売に農産加工品の実演・試食・即売、地場産食材を使った実演試食会、そば打ち体験など実りの秋を満喫。その他に幼児・小・中・高生の習字、図画、工作の展示にフリーマーケットやお楽しみ抽選会などが行われ親子連れでにぎわっていました。



03 金木町

産業文化まつり



第10回

金木町音楽発表会

金木町小中学校長会が主催する第10回金木町音楽発表会が11月6日、金木南中学校体育館で行われました。

町の音楽文化発展のために行われている発表会も10回目となり、今年も昨年に続き金木高校が参加し町内小中学校と金木幼稚園の児童生徒340人が日頃の練習成果を存分に発揮しました。

大太鼓、小太鼓などにマーチングを取り入れた金木幼稚園の鼓笛演奏で始まった発表会は、川倉小学校が効果音を入れた音楽物語、高音のハーモニーを聴かせた合唱に津軽三味線を発表した喜良市小学校、手話をとりいれた流行歌を合唱した嘉瀬小学校に、各小中学校51名による三味線合同演奏、今年から三味線部となった金木高校は曲弾きなどを披露。今年の吹奏楽コンクール県大会に出場した金木南中学校、金木小学校、金木中学校の吹奏楽部の質が向上し集合性のよい各校演奏に会場に訪れた父母らから拍手が送られていました。



10月13日の体育の日、運動公園を主会場にした総合体育大会が行われ参加した約230人がスポーツの秋を楽しみました。結果は次のとおりです。

★グラウンド・ゴルフ

小学校の部		一般の部	
第1位	浅利 智也(川倉小)	大橋 和子	あか組
第2位	浅利 啓太(川倉小)	成田 たへ	あお組
第3位	柏谷 翔大(金木小)	外崎 正	—

★バレーボール ★ゲートボール

あか組	嘉瀬 金
あお組	瀬田 木
—	—

★卓球

初心者男子	小学校4年男子	小学校5年男子	小学校6年男子	中学校男子	中・高校・一般男子
第1位 津田 好平(嘉瀬小)	斉藤 光平(嘉瀬小)	工藤 真寿(金木小)	白川 大悟(金木小)	斉藤 光司(南 中)	棟方 亮成(金 中)
第2位 逢坂 奉紀(金木小)	角田 周大(金木小)	原田 祥光(嘉瀬小)	葛西 優毅(金木小)	秋谷 亮太(金 中)	長尾 修(金 中)
第3位 長尾 和久(金木小)	古川 祐也(嘉瀬小)	山中 雅仁(嘉瀬小)	溝呂木七弥(金木小)	工藤 奨司(金 中)	工藤 真大(金 中)
第3位 菊地 優太(金木小)	角田 達哉(金木小)	三上 有(金木小)	秋谷 大貴(金木小)	津田 廉(南 中)	木村 元(金 中)

初心者女子	小学校4年女子	小学校5年女子	小学校6年女子	中学校女子	高校・一般女子
第1位 西村 春香(喜良小)	松井 美樹(金木小)	前田穂菜実(金木小)	米谷 恵梨(金木小)	木下 真衣(金 中)	松谷 千春
第2位 鎌田 美咲(嘉瀬小)	津島 奈穂(金木小)	白川 美智(金木小)	松野 亜弥(金木小)	葛西 李紗(金 中)	三上 真梨子
第3位 山中穂乃香(嘉瀬小)	内海 梨奈(嘉瀬小)	小野裕利奈(嘉瀬小)	角田 若奈(金木小)	工藤 理美(金 中)	工藤 智恵美
第3位 秋元恵梨香(嘉瀬小)	—	石戸谷美佳(金木小)	加藤 沙彩(金木小)	古川 星華(金 中)	奈 良 彩 加

★テニス

男子ダブルス		女子ダブルス		ミックスダブルス	
優勝	葛西 隆・今 良孝	秋元 文子・中谷すみ子	若山いづみ・佐々木祥豪	阿部 優子・千葉 哲也	
準優勝	中谷 敬三・石川 文久	西村美奈子・岩淵 里美	岩川みどり・沢田 忍	榎方美奈子・菊池 英明	
第3位	山口 信保・工藤 善明	佐々木聖子・若山いづみ	澤田 恵	佐藤 秀逸	
第3位	黒滝 浩史・吉田				

芸術

スポーツ

第25回

金木町総合体育大会



津軽三味線会館 有料入館者20万人突破

平成12年4月のオープン以来、全国から多くのファンが訪れている津軽三味線会館の有料入館者が10月10日に20万人を突破し、館内で記念セレモニーが行われました。

20万人目の入館者となったのは、札幌市の本多智恵さん。鉄道資材会社に勤める本多さんは関連業者のJR北海道団体ツアーで会館を訪れ入館後、「20万人目の入館おめでとうございます」と声を掛けられはじめは驚いた様子でしたが、角田助役から花束と特産物詰合せの記念品が贈られると笑顔で「眠



気気分でしたがプレゼントされ目が覚めました。これからお土産をとってたところで、うれしいです」とツアーで知り合った西元雅代さんと一緒に喜んでいました。

お便り
コーナー

東京ふるさと金木会

Vol.16

金木出身で埼玉県草加市在住の澤田一茂さんのお便りを紹介します。

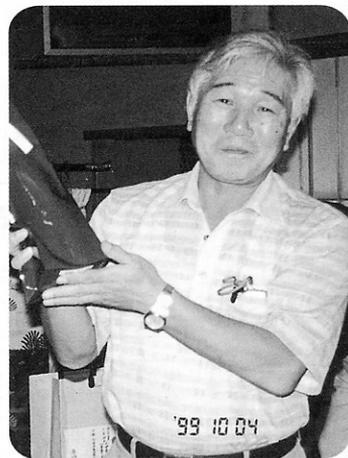
昭和33年に五所川原農林高校を卒業しました。新富町の出身で埼玉県の草加市に在住して46年になりました。生まれ故郷に育てられた18年より長い長い歳月です。

それ以来、繊維業一筋で生きてきましたが、その間の生活の垢は、顔の皺、筋肉の衰えが我が身の分身となりました。負け犬にだけはなるまいと必死に努力したと思います。文字どおり山あり谷ありの人生です。故郷に錦を飾ることは叶いませんが、その苦しさを乗り越えられた原動力は故郷金木のように思えます。両親は亡くなりましたが、若い時には気付かなかった故郷への思いは老いを重ねる毎に深くなるようです。

老後は故郷でのんびり過そうと計画していた時期もありました。しかしこんなご時世では到底無理になり、毎年5月と8月には金木に帰るのを楽しみにしております。朝夕眺めた岩木山の勇姿、津軽平野を走る津軽鉄道、芦野公園の桜などすべて子どもの頃の思い出に繋がります。子供相撲をみれば、相撲をとっていた自分の姿が重なります。身について負けず嫌いの頑張りとは体力はそのお蔭ではないかと感謝しております。

東京ふるさと金木会ができて11年目になりました。故郷に帰らなくても金木会に出席すればあの人この人瞬時に津軽の人間に戻れます。

「故郷は遠くにありて想うもの」故郷から離れた者だからこそ、神社もお寺も町角もすべての景色は私の心から消えることはありません。どうか一人でも多くの特に若い人達の入会を待っております。



【東京ふるさと金木会事務局】

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-3-22 アドニス天野2F

加藤税理士事務所内

TEL 03-3942-8825・FAX 03-3942-9171



食べて観て楽しい一日

金木町連合婦人会と金木町社会福祉協議会の共催による一人暮らしの老人を招待した「ふれあい昼食会&金木町連合婦人会芸能発表会」が10月27日、中央公民館で行われました。

この日集まった一人暮らしの老人約120人は、連合婦人会会員らが準備した手作りの弁当を食べながら舞踊や手踊にカラオケなどの芸能を観て楽しい一日を過ごしました。

今シーズンの結果表彰

金木町朝野球選手権大会の表彰式が10月23日、中央公民館で大会参加10チーム50人が出席して行われました。

表彰式では、今シーズンからA・Bの区分がなくなり一本化したリーグ戦で優勝を果たしたリラックスチームに優勝旗と優勝カップが、準優勝のCITYⅡと3位の金木町役場にトロフィーが手渡され、続いて個人各賞の表彰も行われました。



ツアーで太宰の足跡を辿る

10月25日、青森県文化観光立県推進協議会が企画した「エコロジー」体感バスツアーで、八戸地域と青森地域から参加した60名が当町を訪れ太宰の足跡を辿りました。

このツアーは毎年1回、県民が観光資源を有する地域を訪れ青森県の魅力を再発見してもらうため行われており、参加者たちは斜陽館と芦野公園を訪れ太宰の足跡を辿った後、休養村管理センターで木下教育長の講演で太宰の魅力に触れました。



美しい歌声を披露

金木町中央公民館合唱教室「チェリーコール」の第6回定期演奏会が11月8日、津軽三味線会館で行われました。

多目的ホールでの演奏会では、チェリーコールが合唱に独唱とデュエット、金木町童謡を謡う会と中里女声コーラスが合唱を披露し、訪れた観客は美しい歌声を堪能しました。また、今回は津軽三味線演奏と奴踊りも行われました。



津軽弁の笑い話⑩

『イパダダ標準語』

十月吉日、秋男は、村一番の美人絹子と結婚式をあげた。

その夜二人は、東京、熱海方面に新婚旅行に出発した。

しかし、汽車の中でも、二人は津軽弁のため、周囲の人に恥ずかしく、思うように語り合うことができません。

東京に近くなると、秋男は、「東京サ、着イダラ、標準語デ、話し合うべ」と絹子にささやいた。

東京駅前、磐城ホテルに宿をとり、二人は夜の銀座へと出掛けた。三菱電機の本屋のような照明、森永キャラメルの大ネオン、ライトの長者の列、初めて見る銀座の夜景に、絹子の足はしばしば止まります。

秋男は、やさしく彼女の手を引き、

「早く、アベタマイ」

「ハイッ」とうなづき、歩きかけた

絹子は、立止り、

「うふふ」と笑いだした。

「どうした？」と、のぞきこむ秋男

の耳元に、絹子はささやいた。

「アンタ、今の標準語、イパダダじゃないの」

(森平)

「金木のかたりべ」より